



京都教育大学 平成29年度 秋季企画展

茶道具が語る 戦争

—モノから考える平和学習—

皇軍將兵に感謝!

御稜威に感激!

京都教育大学 教育資料館

まなびの森ミュージアム

2017年

日程 11月6日(月) ~ 12月24日(日)

開館日 月・水・金・日 [11月11日(土)は開館]

開館時間 13:30 ~ 17:00 入館料 無料



- JR奈良線 藤森駅下車 徒歩約3分
- 京阪本線 墨染駅下車 徒歩約7分



京都市伏見区深草藤森町1番地 京都教育大学 教育資料館
 ☎ 075-644-8840 / 8175

<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

アジア・太平洋戦争終結後72年を過ぎ、戦争の記憶の風化が叫ばれて久しい現在、戦争を経験した当事者の世代も高齢化し、戦争と平和について実感をもって学習する機会をどのように次世代に保障するかという課題は、切実になってきていると言えます。このような日本の社会と教育の現状を踏まえ、2017年度教育資料館秋季企画展は、〈戦争の記憶を残した「モノ」を素材とした平和学習〉を基本コンセプトとしました。具体的には、学外団体「戦争について考える茶の湯同好会」の展示物協力を得て、近代日本の「茶の湯」の営み、なかんずく、そこで使用された茶道具という「モノ」に刻まれた戦争の記憶を題材として、戦争、文化、平和について考える機会を提供いたします。
〔章立て〕 1. はじめに一モノから考える平和学習— / 2. 茶道具が語る日露戦争 / 3. 茶道具が語る「満州」・朝鮮 / 4. 茶道具が語るアジア・太平洋戦争 / 5. 茶の湯と平和



- 1 真珠湾襲撃図 飛田周山 筆
- 2 烏城焼 乃木将軍 詩彫茶碗 渡辺烏城 (203高地の土を以て) 作
- 3 竹掛花入 銘「秋篠」 箱書後藤瑞巖
「下林部隊激戦地の竹を以て」
- 4 大東亜戦争 曆手茶碗(背面) 12代紀太理平 作
箱書 淡々斎千宗室
- 5 兎兵 城門形蓋置 9代大樋長左衛門 作 「勝々山」
- 6 東郷元帥 文字彫 鉄球釣花入 「戦塵余材」
- 7 竹茶杓 日本人(透月斎 藪内紹智) 作 銘「倭魂」(戦捷2年12月)
- 8 竹茶杓 即中斎千宗左 作
歌銘「大君の御旗の下に死してこそ 人と生れし甲斐はありけれ」
- 9 満州国国旗 内日の丸文茶碗 2代久世久宝 作
箱書 淡々斎千宗室
- 10 富嶽画賛 小室翠雲画 近衛文麿賛 「八絃一字」
他 35点展示



- JR奈良線 藤森駅下車 徒歩約3分
- 京阪本線 墨染駅下車 徒歩約7分



京都市伏見区深草藤森町1番地 京都教育大学 教育資料館

☎ 075-644-8840/8175